

地研通信

発行人 岩田 俊二
編集人 島内 高太
発行所 三重短期大学
地域問題研究所
津市一身田中野157番地
〒514-0112 TEL(059)232-2341

題字 岡本祐次元学長

2009年 地域問題研究所研究員

(研究期間2009年4月～2010年3月)

研究員

- 雨宮 照雄 「地方行財政の課題 - 財政情報の開示と活用を中心に - 」
- 茂木 陽一 「近代三重県域におけるマビキ慣行の研究」(継続)
- 楠本 孝 「来日外国人と地域社会」
- 山川 和義 「三重県における労働・雇用問題に関する政労使の取り組み」
- 島内 高太 「地域企業におけるCSRの現状と課題」(継続)
- 梅澤 真樹子 「津地区在住者の食習慣および栄養摂取状況について」
- 平尾 竜一 「Web2.0時代の福祉社会における情報保障に関する基礎的考察
- 聴覚障害者への情報保障用Device検討とSoftware開発を中心に - 」
- 岩田 俊二 「地方都市の沿革と拡大過程に関する研究 - 津市を事例にして - 」
- 木下 誠一 「居場所づくりの取り組みの現状と課題」
- 駒田 亜衣 「生活習慣病発症リスクと食生活に関する研究」(継続)
- 長友 薫輝 「三重県内における地域医療の現状と課題」
「地域における保健・医療・社会福祉の総合的保障システムに関する研究」

2009年度 地研運営体制 (2009年4月1日現在)

- 所長 岩田 俊二
- 会計担当 長友 薫輝
- 地研年報担当 茂木 陽一
- 地研通信担当 島内 高太
- 地研HP担当 雨宮 照雄
- 交流集会担当 駒田 亜衣

所員 本学の専任教員は研究所の所員となります。

研究員 研究員は、研究費の支給を受けて、自ら設定したテーマについて地域に関する自主研究に従事します。(研究期間2009年4月～2010年3月)

【研究概要】

研究者名 (共同研究者名)	研究テーマ	研究概要
雨宮 照雄	地方行財政の課題 - 財政情報の開示と活用を中心に -	地方財政健全化法や公会計改革に伴い、財政情報の開示が進んでいる。住民や議会の統制の観点や行財政運営への活用の観点から、財政情報の開示と活用のあり方を検討する。また、三重県および県下市町を対象にアンケート調査を実施し公会計改革にどのように対応しようとしているのか実態を調査する。
茂木 陽一	近代三重県域におけるマビキ慣行の研究 (継続)	前年度に引き続き、明治20年代後半～昭和戦前期までのマビキ慣行の実態を新聞(伊勢新聞、大阪朝日/三重県版etc...)等によって明らかにする。
楠本 孝	来日外国人と地域社会	地域社会が外国人を地域の住民として受け入れ共生するためにどんな対応が必要かを考える。
山川 和義	三重県における労働・雇用問題に関する政労使の取り組み	本研究では、現に行われている三重県における労働・雇用問題に政労使がどのような取り組みをしているかについて分析し、今後の課題を提示するものである。(対象は当該年度または、昨年度の取り組みとする。)
島内 高太	地域企業におけるCSRの現状と課題 (継続)	企業の社会的責任いわゆるCSRや企業による社会的事業への取り組みに注目が集まっている。近年、大企業による取り組みが充実してきているが地域で活動する中小企業の取り組みについては多くの課題があると思われる。三重県下の企業におけるCSRへの取り組み、社会的事業への取り組みを調査し、その現状と課題を明らかにしたい。
梅澤 真樹子 (中井 晴美) (飯田 津喜美) (駒田 亜衣)	津地区在住者の食習慣および栄養摂取状況について	津地域在住の成人男女を対象に「食物摂取頻度調査表」を用いた調査や食習慣アンケート調査を実施する。食物摂取状況が食習慣とどのように関連しているかを検討し、今後の食生活改善に向けてのアピールの方法を考える。
平尾 竜一 (加藤 あけみ) 静岡福祉大学 (横溝 一浩) 静岡福祉大学	Web2.0時代の福祉社会における情報保障に関する基礎的考察 - 聴覚障害者への情報保障用Device検討とSoftware開発を中心に -	人に優しいまちづくりというコンセプトで生活環境を設計しなおすバリアフリー、地域にそもそも障壁のないユニバーサルデザインの社会づくりは現下の本邦に定着しつつあるものとなった。今般、新しい段階に福祉社会が突入したと指摘されるが、それは目に見えた枠組みから隠されていたもの、ハードからソフトへというものに浸透すべきものとなる。そこで、情報保障という取組がこのフェーズを開拓する一助となるのか、否かというシステム上のスタビリティを検討してみたい。同時に、聴覚障害をもつ人たちへの情報保障の取組をDeviceとSoftware軸に整理し、社会資源の集中と最適化に関するOpenソースによるSoftware開発を中心にした提言を計画する。

岩田 俊二 (中井 加代子)	地方都市の沿革と拡大過程に関する研究 - 津市を事例にして -	津市を事例にして地方都市の市制施行と合併を通じた拡大過程を市町村界等の属地と人口・世帯数等の属人的分析をもとに明らかにする。近現代の地方都市の発展過程とその契機を明らかにする。先の地方都市の都市計画及び農村整備の歴史に関する研究の続編であり、第3部として位置づけている。
木下 誠一	居場所づくりの取組みの現状と課題	近年、少子高齢化、地域社会での人間関係の希薄化、青少年問題など様々な社会的背景から、公共施設や空き店舗等を利用した居場所づくりの取組みが各地でみられる。これらの取組みは新しく試行錯誤的に行われていることから、その実態と課題を把握し、地域施設の計画的指針を得る。
駒田 亜衣	生活習慣病発症リスクと食生活に関する研究 (継続)	特定健診のデータから生活習慣病を発症するリスクを推定し、食生活との関連を解析するにあたり、基礎調査として2008年度の特定健診データや食生活調査から三重県の現状を把握する。特に三重県は糖尿病の罹患率が高いことから、糖尿病に焦点をあてて生活習慣等を検討する。
長友 薫輝	三重県内における地域医療の現状と課題	地域医療の崩壊が三重県内でも進展している。県南部はもちろんのこと、北中部においても地域医療のシステムの再構築が必要となっている。こうした現状を把握し、どのように地域医療システムをつくりあげる必要があるのかについて研究を進めたい。また、その際、県立病院をはじめとする公立病院の役割についてもあわせて考察したい。
【奨励研究】 長友 薫輝	地域における保健・医療・社会福祉の総合的保障システムに関する研究	地域医療をはじめ地域における生活保障システムのあり方が問われており、三重県内を中心としてどのようなシステムの構築が求められるかということについて調査研究を進めたい。

次号のご案内

本年度『地研通信』の第2号(第96号)は、10月30日の発行予定です。福祉社会における情報保障の問題や「居場所づくり」の問題に取り組む二人の研究員の論稿を掲載する予定です。今後の地域社会のあり方をどのように展望するのか、地域再生やまちづくりに関心のある方には是非ともご一読いただきたいと思います。ご期待下さい!!(KS)

'Criticism of Anthropocentrism' as the Environmental Ideology

Arisato MINAMI

邦文要旨

「人間中心主義」および「人間中心主義批判」は、いずれも物質的基盤をもった実践的意識としての「環境イデオロギー」として理解されるべきである。その構造と展開についての私見を、図Aおよび図Bにおいて示した。

なお、本稿は2009年4月に中国・南京師範大学において開催された、『"人的発展経済学"中・日国際学術研究会 経済、環境与人的発展』における報告原稿を基にしたものである。

1 What should we think of 'Criticism of Anthropocentrism'?

We should understand 'Criticism of Anthropocentrism' as the problem of the environmental ideology, not as that of 'the philosophical or ethical principle which we ought to rely on in the coming new era of environmentalism'. Then, why should we do so? There are three reasons, I think. The first one is that we can not penetrate this idea in human societies. Then the second one is that doing so make us possible to link the idea to critical social sciences, which are generally anthropocentric. And the third reason is that we would be able to estimate its rolls in the social practices accurately.

Then, what is the meaning of 'to understand it as ideology'? My definition is these two, 1) to grasp it as a consciousness on human social practices, 2) to see it corresponding with its material basis.

2 Anthropocentrism and non-anthropocentrism

Then, what are the meanings of anthropocentrism and non-anthropocentrism? In anthropocentrism, generally it is asserted that, 1) nature and species have their value only in relation to human beings, 2) only human beings can be the object of ethical concerns. On the other hand, in non-anthropocentrism, it is asserted that, 1) nature and species have their intrinsic values with no relations to human interests, 2) nature and species could be the objects of ethical concern. Therefore, anthropocentrism practically results in justifying resourcification of nature and species, and non-anthropocentrism results in placing ethical restraint on the resourcification of nature and species.

3 My view on 'Criticism of Anthropocentrism'

(1) The basic formation of environmental ideologies ---- See figure A.

(2) Trilogy of environmental ideologies --- See figure B.

NOTES

- 1) We should understand these human characters to be the results of biological and socio-cultural evolution of us.
- 2) Specism is the tendency to see our species superior to all the other living beings on earth.
- 3) Developmentalist chauvinism is the idea that regards development of economy and technology as supreme and make light of fundamental human interests- to live, to breed, and to develop human abilities. Therefore it should be defined 'alienated anthropocentrism', which means 'anthropocentrism against human beings'

Figure A

The Basic Formation of Environmental Ideologies

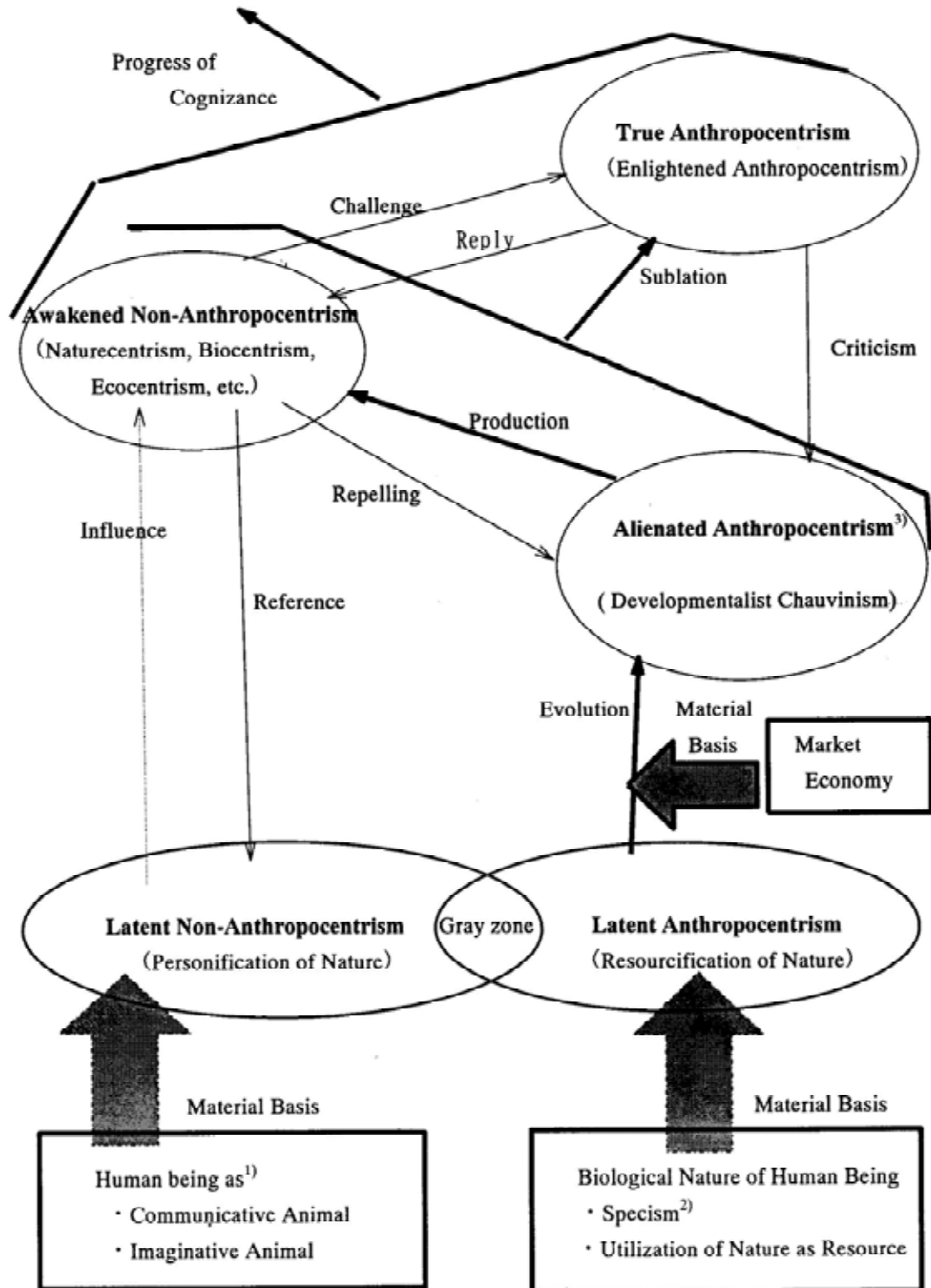
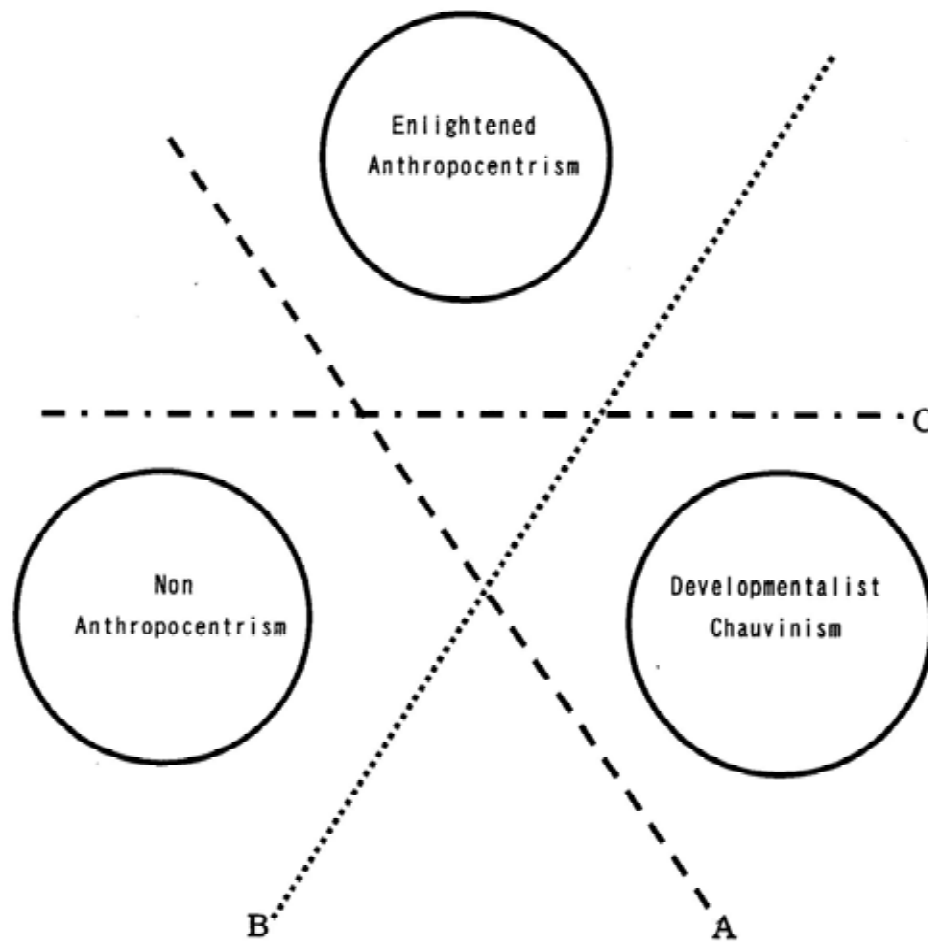


Figure B

Trilogy of the Basic Environmental Ideologies



Axis A: Supporting interest of nature vs. Supporting human interest

Axis B: Criticism of nature destruction vs. Tolerance of nature destruction

Axis C: Supporting fundamental interest of human beings vs. Despising them

地 研 セ ミ ナ ー

(三重短期大学地域問題研究所の研究成果を連続セミナーで発表します)

8月22日(土) 13時30分～15時 アスト津「会議室2」 定員30名

「津市における成人女性の食事摂取状況」

講師：梅澤 真樹子 (三重短期大学生生活科学科教授)

うまし国といわれる三重県は新鮮で豊富な食材が私たちを楽しませてくれますが、とりかたによっては健康上の問題をひき起こします。そこで今回は津市の18歳以上の女性たちを対象に食嗜好を調査した結果から、その動向について検討します。

9月26日(土) 13時30分～15時 アスト津「会議室2」 定員30名

「近代女性史の裏側～近代三重県域におけるマビキ慣行について～」

講師：茂木 陽一 (三重短期大学法経科教授)

近代になっても存続していたマビキ慣行の推移とそれをめぐる警察、医師、近代助産師、公娼制度などとの関係を通じて、近代社会での女性の性が置かれていた状況を考えます。

10月31日(土) 13時30分～15時 アスト津「会議室2」 定員30名

「地方財政の最近の動向」

講師：雨宮 照雄 (三重短期大学法経科教授)

税収格差是正、ふるさと納税などの地方税をめぐる議論、財政健全化法や公会計改革などの財政情報の開示と活用、地方分権改革推進委員における議論などを中心に、地方財政の最近の動向について考えます。

- 参加費 無料
申込期間 5月25日(月)～
定員まで先着順に受け付けます。
申込方法 下記の申込先に、郵送・電話・ファックス
eメールのいずれかで、氏名、住所、連絡
先(電話番号)希望講義名をご連絡下さい。

申込先・問合せ先

三重短期大学地域連携センター
〒514-0112 津市一身田中野157
TEL 059-232-2341 FAX 059-232-9647
E-mail 232-2341@city.tsu.lg.jp



【受入図書一覧】

本研究所で2009年3月以降に受け入れた図書は次の通りです。

書名	筆者名
日本子ども資料年鑑 2009	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所 編
青少年白書 平成20年版	内閣府
国民生活白書 平成20年版	内閣府
日本都市年鑑 2008	全国市長会 編
議会基本条例の展開	橋場利勝 / 中尾修 / 神原勝
自治体の政策形成力	森啓
シビル・ミニマム再考	松下圭一
栗山町発・議会基本条例	橋場利勝 / 神原勝
「政策財務」の考え方	加藤良重
市場と向き合う自治体	小西砂千夫 / 稲澤克祐
市民自治の制度開発の課題	山梨学院大学行政研究センター
地方政府と政策法務	加藤良重
政策財務と地方政府	加藤良重
市民と自治体の協働研修ハンドブック	土山希美枝
「自治体憲法」創出の地平と課題	石平春彦
自治・議会基本条例論	神原勝
日本で働く非正規滞在者	鈴木江理子
子どもたちにアムネスティを	A . P . F . S 編
地方財政白書 平成21年版	総務省
国土交通白書 2009	国土交通省 編
女性労働の分析 2008年	厚生労働省 雇用均等・児童家庭局
社会保障統計年報 平成20年版	国立社会保障・人口問題研究所
消費者物価指数年報 平成20年	総務省統計局
平成20年度 地方交付税制度解説 (補正係数基準財政収入額篇)	地方交付税制度研究会
平成20年度 地方交付税制度解説 (補正係数基準財政収入額篇)別冊	地方交付税制度研究会
21世紀施策要覧 2009年度版	(株)月刊 同友社
厚生統計要覧 平成20年度	厚生労働省大臣官房統計情報部
社会生活統計指標 - 都道府県の指標 - 2009	総務省統計局
平成20年 地域保健医療基礎統計	厚生労働省大臣官房統計情報部

編集後記

地研通信第95号をおおくりいたします。今号には、南所員の論稿を掲載することができました。邦題を付けるとすれば「環境イデオロギーとしての『人間中心主義批判』」となるのでしょうか。国際学会で発表された研究成果の要点をまとめていただいたものです。

私たちの多くは地球環境問題に関心があるし、日常的にも"エコ"な行動を心がけるわけですが、しかし、人間とそれ以外の生命や自然との関係について深く考える機会は案外すくないものです。南所員の研究はこの根本的問題に取り組むことで本当の意味での「人間中心主義」に迫ろうというもの。英文の論稿ではありますが、是非ともご一読下さい。

また、今号は本年度第1号にあたります。毎年のように、研究員の研究テーマについても紹介させていただきました。合計11名の研究員が、地方財政の問題、来日外国人問題、雇用問題など、多様な切り口から地域問題研究を展開しています。これらの研究の成果については次号以降で順次紹介していきますので、ご期待下さい。(KS)